

事務局

事業計画（案）

佐賀ブロック協議会

事務局 局長 大崎 翔太

1 県内7つのLOMで構成されている佐賀ブロック協議会は、これまで本会と運動の軸を
2 合わせた事業を展開できるよう、情報の発信や支援で円滑な運動を推進する重要な役割を
3 担ってきました。より良い佐賀の未来を見据え展開する運動には、佐賀ブロック協議会が
4 各LOMにとっての調整機関となるよう、迅速な情報発信や運動の支援を効率的にできる
5 組織運営とともに、各LOMとの団結を高め協力し、信頼関係を構築することが必要です。

6 まずは、全員が挑戦し、誰一人取り残さない日本社会を築くために、本会の事業・運動
7 を推進します。そして、佐賀ブロックにとって頼れる存在となるために、模範となるよう
8 な事務や会議の運営を実施することで、各LOMとの信頼関係を構築します。さらに、円
9 滑な組織運営を行うために、本会・九州地区協議会・県内7LOMと密接な連携を図り、
10 各LOMの調整機関として迅速な情報の受発信を行います。また、円滑な会議運営のため
11 に、徹底した会議の資料作成や準備・設営を行い、有意義な議論ができる会議の環境を整
12 えます。そして、公益社団法人として公的な記録を残すために、会議において2名体制で
13 内容を記録することで、事業構築における意見と対応が明確にわかる正確な議事録を作成
14 します。さらに、佐賀ブロック協議会の運動方針に対し各LOMとの意識統一を図り多く
15 の参画を募るために、佐賀会議を開催することで、運動の目的や意識を共有し、つながり
16 を深めます。また、JC運動に対する共感の輪を広げるために、佐賀ブロックの運動が伝
17 わるHPやSNSの運営を行い、1人でも多くのメンバーや市民にJC運動を周知します。

18 迅速かつ円滑な事務局の運営を遂行し、各LOMからの信頼を確固たるものとし、組織
19 運営において不可欠な存在として組織の一翼を担い、側面的な支援による運動の質をさら
20 に向上させ、県内各地域に大きな波及効果を生み出し、佐賀の進歩と繁栄の礎となります。

21 22 23 <事業計画>

- 24 1. 本会・九州地区協議会事業・運動の推進
- 25 2. 会員会議所会議等会議の運営
- 26 3. 本会・地区・LOMとの連絡、調整
- 27 4. 諸会議の資料作成・配布・配信
- 28 5. 会員会議所会議等会議の議事録作成
- 29 6. 書類作成及び管理
- 30 7. 佐賀会議の開催
- 31 8. HP及びSNS等の運営